

# 暮らし・福祉・子育て充実へ一般質問

<6月定例議会終了>

日本共産党議員団4名

それぞれの分野で市当局の姿勢をたず



**後期高齢者医療制度**  
 〈問〉国民の多くが怒りを感じているひどい制度だ。資格証明書は原則発行しないよう広域連合に働きかけをすべきだ。

**樋口良子議員は、**  
 「現代版姥捨て山」といわれる後期高齢者医療制度を取り上げました。特に制度発足後一年が過ぎたことから、今後発生してくる「一年間保険料滞納」による資格証明書発行に関しては、悪質滞納を除いて、原則として交付しないよう強く求めました。

**資格証明書は交付しないことを原則に**



〈答〉資格証明書の交付は納付相談の機会を確保するため設けられたもので、被保険者間の負担の公平を図ることを意図したものだ。交付によって、被保険者が医療機関への受診を控えることや、必要な医療を受ける機会が損なわれる恐れもあることから、運用については機械的な交付が行われることのないよう個別のケースに即して慎重に対応される必要がある。県後期高齢者医療広域連合もその方向であるが、改めて協議し適切な

運用が図られるよう努めたい。

**公立保育園の延長保育、拡充に向けて検討を開始**  
**平良木哲也議員は、**こどもを持つ市民の教育や保育には不自由させたくない」という願いに応え、就学援助制度の改善などについてたずねました。

**就学援助制度**  
 〈問〉最近の就学援助の認定状況はどうなっているか、また、制度の内容の周知について、どのような工夫をしているか。  
 〈答〉認定数は平成17年の一五七人から平成20年は二〇四五人と34%増加している。学校で年頭に案内を配布しているほか、広報などで周知を図っている。申請書を全家庭に配布することも検討したい。

**延長保育**  
 〈問〉公立保育園で午後7時までの延長保育を実施している園はどのように配置しているのか。また、今後、延長保育の拡充を

り、一定の役割を果たしている。すべての教育費をまかなえる状況にあるか、さらに調査する。支給基準は国の指針に基づいており、引き続き現行の基準でやっていきたい。

**私学助成拡充**  
 〈問〉私学の保護者への学費補助について今後どのような姿勢で臨むか。  
 〈答〉市内2校の私立高校の入学者の減少は、経済不況による家計収入の減少も原因の一つと考える。現在の学費補助の水準を堅持していきたい。市の奨学金制度を改善し、成績要件をはずしたので、活用してほしい。



行う考えはないか。  
 〈答〉合併前上越では、高田直江津に各1園だったものを市民のニーズに応え6園に増やしてきた。延長保育のさらなる充実が市民の強い要望であり実施に向けて検討中である。保育士の確保など、いろいろな問題を判断していきたい。

**「安心子ども基金」**  
 〈問〉経済対策の一環として「安心子ども基金」が交付される。積極的に活用して、子育て支援の環境整備を進めるべきだ。  
 〈答〉この基金は国から交付された交付金を財源として、それぞれの都道府県で基金を造成し、平成22年度までに保育所の整備や質の向上のために活用するものだ。本市では、私立保育園の改築工事や耐震補強工事、保育市などの研修費用を要望した。経済危機対策にかかる「安心子ども基金の拡充分」については詳細な事業内容は検討中だ。積極的に活用していきたい。



6月14日消防団頸城方面隊の演習

**日本共産党上越市議員団ニュース**  
 No.187 2009年6月21日

連絡先	橋爪 法一	548-3628	(吉川区代石)
	樋口 良子	544-6802	(中門前3)
	上野 公悦	530-2203	(頸城区中柳町)
	平良木哲也	525-9096	(上中田)